

# 月刊フットマーク

2021年12月24日(金) 第64号

月刊フットマークは東京都墨田区にある水泳・介護・健康インナーメーカー「フットマーク」が月1回発行するニュースレターです。すべてのお客様へ向けて楽しく役に立つ情報を掲載した紙面づくりを心がけています。

飛沫対策がしにくいプール。プールでも使えるマスクを付けて水泳を楽しんでもらえたら！と願い開発しました。泳ぐ時はマスクを首元に下げ、緩やかにフィットして泳ぎの邪魔になりません。学校の授業やスイミングクラブさんで、大人から小学生までたくさんの方に使用していただきました。



## Number 01

水泳レッスンマスク 60万枚販売

私は、オリンピック選考会で今まで出会った方々や応援して下さる全ての人のためになんとしても良い結果を出したかったのですが、思うようには行きませんでした。しかし、多くの方から暖かい言葉や、感動したと言ってくれて私はこの上ない幸せを感じることができました。自分のことのように一喜一憂して下さった皆様には本当に感謝しています。今後は会社に恩返しができるよう、お客様に喜んでいただけるよう精一杯努めていきたいと思えます。(後藤)



## Number 06

後藤真由子さん現役引退し社員に

水辺で役立つウエアをつくる FOOTMARK NATURAL が、7通りの使い方ができる 7WAYBAG を開発。初めてクラウドファンディング (Makuake) に挑戦しました。開始1時間で目標金額を達成し、人気商品となりました！アウトドアシーンだけでなく、普段の買い物にも便利なバッグです。



## Number 02

7WAYBAG クラウドファンディングに挑戦

## Number 03

RAKUSACK JUNIOR がメディアに取り上げられる

小学生が毎日背負っているランドセルの重さを、どうしたら軽減できるか。RAKUSACK JUNIOR はそれを追求したバッグです。バッグ自体が軽いのはもちろん、中身が動かないよう背中側に荷物を固定させる「ブックストラップ」がポイントです。「ランドセル症候群」の対策バッグとしてメディアに注目され、テレビでも紹介されました。



取材の様子

## Number 04

Web 請求とアウトソーシングで業務のIT化



経営管理部では、最近ホットな電帳法や郵便法の改正がありその対応が課題になっていました。導入当初はうまくいか不安でしたが、今では、利用された方からは郵便を待つよりすぐ金額確認ができ便利という声をいただいています。また、現在郵便でお送りしているお客様も、表紙に登録ID・パスワードを記載していますのでぜひこの機会にご登録をして便利さを実感してください♪

## Number 05

オンラインショップリニューアル

「ネットショップ大賞2020」(オンラインカートシステム「ショップサーブ」主催)も受賞したフットマーク公式オンラインショップを2021年4月にリニューアルしました。各ブランドイメージに沿ったサイト構成で、必要な情報まで簡単にたどりつけるようになっています。また、新たにお買い物の金額に応じてお得になる会員制度をはじめました。

2021年は、IT化やデジタル化がさらに加速。コロナ禍はこれまで当たり前だったやり方を変えるきっかけにもなり、様々なことに挑戦した1年でした。皆様にとって2021年はどんな1年だったでしょうか。今月は1年間を振り返りながらフットマークの出来事を10個ご紹介します。



## Number 07

社内ラジオや社内Youtubeの活用

インナーブランディングプロジェクトの今年のテーマは「コロナ禍でのコミュニケーション」。社員が集まって話をする機会がなくなってしまった中で、社員同士のコミュニケーションのきっかけをつくりました。「キムラジオ」ではMC木村元気が、社員の入社きっかけや仕事のスキルなどを聞き出し、会議ツールでライブ配信。「フットマークチャンネル」は社員の仕事に密着したり、趣味について聞いたりした動画を楽しく編集して配信しています。



キムラジオ配信の様子



インナーブランディングチーム FMch担当:はせがわ  
フットマークチャンネルのオープニング

# FOOTMARK 2021 Memorial



オンライン企業訪問の様子(先生方撮影)

2校の中学生に向けて「オンライン企業訪問」を行いました。職場体験ができない現状で、「その代わりにする経験をさせたい」と学校さんから要望をいただき開催。ものづくりの流れを動画で解説、質問コーナーなどを実施しました。「働くこと」に対しての質問も多く、社員が一つ一つ回答し、生徒さんとコミュニケーションを図りました。



## Number 08

オンライン企業訪問開催

## Number 09

FOOTMARK BASEWEAR・Nike swim SNS 開設

今年はフットマークの各ブランドでSNSの活用が活発に。「Nike swim」と「FOOTMARK BASEWEAR」はInstagramアカウントを開設しました。「FOOTMARK BASEWEAR」は他の企業さんとインスタライブを行うなど、新たな試みにもチャレンジしました。右のQRコードを読み取っていただくと投稿をご覧いただけます。



マスクに限らず、感染症対策アイテムを開発しています。「学校ではどんなことが必要とされているのか」をヒアリングしました。体育の授業やクラブ活動に必要なホイッスルの飛沫を抑える「ホイッスルカバー」。リコーダーから飛沫を抑え音楽の授業や演奏会を行えるようにする「リコーダー用カバー」などがあります。



## Number 10

感染症対策アイテムが続々登場

## 編集後記

12月に入りさらに寒くなってきましたが、皆様お変わりないでしょうか？寒くなってくるとお鍋がより美味しく感じます。友人と一つの鍋をつついて冬を味わっていた頃を思い出し、来年こそは何も気にせず年末年始を楽しめるようにと願わずにはられません。月刊フットマークでは、2022年も新商品の情報やフットマークでの出来事をたくさんお伝えして参ります。今後ともよろしくお願致します。(飯田)



フットマーク株式会社  
東京都墨田区 2-7-12  
広報室  
webmaster@footmark.co.jp



フットマークと墨田区

創業者 磯部徳三がおむつカバーの製造業として墨田区緑町二丁目10番地に株式会社 磯部商店(現フットマーク株式会社)を設立。終戦翌年の昭和21年(1946年)でした。以来、75年にわたって墨田区でお世話になっています。創業者は戦前、中央区日本橋横山町の繊維雑貨問屋に勤務していましたが戦争で勤務先がなくなり、「何かをつくる仕事をしよう」と両国橋を渡った墨田区に住居兼仕事場を構えました。焼野原で何にもない墨田区で創業したのは親切な人のお世話があったからです。東京の下町といわれ繊維・メリヤス業、鉄工所、印刷業が多く集積していた地区で、「向こう三軒両隣」と言われるように人情味あふれる地でした。創業後おむつカバーのミシン仕事は多忙を極め、朝から夜遅くまで仕事していると近所の人は見るに見かねて手伝いに来てくれました。ここから近所の仕事の輪が大きくなり、フットマークと墨田区との古いつながりは、地元の人と「朝晩のあいさつ」に始まって、町会主催の祭りなどの春夏秋冬の行事に参加して交流の輪が広がっていきました。

最近では、墨田区の依頼を受けて地域巡回展「介護はすみだ生まれ、いま・むかし」を開催し約200人の方々が来場、懐かしい古い町並みの写真を楽しんでいる姿が見られました。また、フットマーク主催の「世界で1つだけのカラフル水泳帽子をつくろう」イベントには20組の小学生と保護者が参加。区外の小学生からも参加があり、ミシン掛けの陳さんは大忙しでした。区内のものづくり会社が主催する「スミファ」にも参加。区内の事業者を巡回したり、フットマークに来場したり、区民はもとより事業者同志で有意義な交流をはかっています。墨田区産業振興課主催の「小さな博物館」として、2013年より「フットマークギャラリー」を開設。会社に近いところには、国際的に名前が知られる「北斎美術館」「江戸東京博物館」「国技館」などがあって、そこに来た方が「フットマークギャラリー」にも立ち寄られることもあります。

地域との関わりが深い会社は今では珍しいのかもしれませんが、墨田区にはたくさんあるように感じます。75年前、創業者がこの土地を選んだ理由、墨田区には“人”の縁がたくさんあったからだったのではないかと想像しました。



創業当時の「株式会社 磯部商店」



創業時に使っていた足踏みミシン  
(現在は「小さな博物館」にて展示)



「世界で1つだけのカラフル水泳帽子をつくろう」イベントの様子

K A O R U の 部 屋 31



三瓶 芳 (さんべ かおる)  
フットマーク代表取締役社長  
1958年1月27日 島根県生まれ  
1980年 駒澤大学卒業 2012年 社長就任

腰痛を発症してしまいました。原因は明らかに身に覚えのある体重増加。会社の冷蔵庫に在庫を積んでいるのが薄々社員にもバレしているカフェオレの飲みすぎです。年末年始が一番気が緩みがちですが、自分に厳しくダイエットをがんばります。皆様どうぞ良い年をお迎えください。このコーナーまでお読みいただきありがとうございました。

まだまだもっともっと

今年もあっという間に終わろうとしています。オリンピック、総選挙など様々なイベントがすべてコロナに振り回された激動の一年でした。ようやく落ち着き始めてきたかと思えば、変異種オミクロン株の報告。まだまだ不安な日が続きます。

明るいニュースでは大谷翔平選手の活躍を毎日とても楽しみにしていました。かつて王貞治選手がホームラン世界記録を樹立した時のように「今日は?今日は?」と毎日昼食時にニュースを見るのが日課でした。これまでの常識をことごとく覆し夢を実現する、本当に応援したくなる選手です。

彼がいったいどうやって育ったのかが気になるところですが、よく聞くのは目標達成のために使っていたマンダラチャート。詳細が気になる方はぜひ検索してみてください

ださい。本当に高校生とは思えない内容。だれに教わったのか?大谷選手の素晴らしいところは、まさに有限実行する行動力と夢が夢で終わらないことを信じさせてくれること。たとえ厳しい状況であっても、今に感謝し、上を目指していこうという姿勢は見習いたい部分です。

会社もコロナ禍の影響で月々の業績も大幅な乱高下がありました。全社一丸で何とか乗り切ることができました。ご支援いただきましたお客様・仕入先様、すべての皆様に深く御礼申し上げます。

新商品開発にも懸命に取り組み、様々な賛否をいただきましたが、お客様の声を大事にしていく姿勢は変わることはありません。また新しいことに限界はありません。”まだまだもっともっと”より良い未来へ、前に進んでいきたいと思えます。

フットマーク株式会社  
代表取締役社長 三瓶 芳



創業は明治19年。あの 大隈重信 とのご縁も...?!

カラフル・ペア

フットマークより ケーキ 2分

フットマークの近所にあるケーキ屋さんで2013年にこの地に移転。きれいな店内ですが、歴史は古くなんと創業135年の老舗です。さらに驚きの事実、創業時の店名はあの 大隈重信 が名付けたとか! 明治政府から発行された営業許可証が展示されていました。お店の看板メニューであるコクラマシューは、ほんのり塩気が効いたザグザグとした食べ応えのあるクッキー地の皮と控え目な甘さのカスタードクリームが絶妙なバランスで、やみつきになる美味しさです。実はリオ五輪競泳金メダリストの金藤理絵さんの祝勝会では、オリジナルケーキを作っていただきました。素晴らしい完成度に一同感嘆したのを鮮明に覚えています。ぜひ記念日などの思い出に世界でたったひとつのケーキのご相談もおすすめです。

上) コクラマシュー 下) フルーツタルト



祝勝会ケーキ



東京都墨田区緑 2-14-14  
TEL: 03-3631-6630

新型コロナウイルス感染拡大により、営業時間・定休日が通常と異なる場合がございます。ご来店時は事前に店舗にご確認ください。



す み だ め ぐ り

Reflectscape (リフレクトスケープ)



住所: 〒130-0001 東京都墨田区吾妻橋3丁目4-1  
(大横川親水公園内)

開館日: 終日  
入場料: 無料



GTS (藝大・台東区・墨田区) 観光アートプロジェクトの一環で、業平橋北側に設置されたアート作品。鏡の前に立つと東京スカイツリー®と記念撮影ができます。「スカイツリーを見るには、スカイツリーの方向を見上げること。」そんなお決まりのスタイルを 180°変えた新しい見方です。特にお天気の良い日がおすすめ。鏡の中うつるスカイツリーと自分は何とも不思議な感覚です。リフレクトスケープも含めたアート作品を楽しみながら散策できる GTS 観光アートラインは、東京スカイツリーと浅草をアートで繋ぐ回遊ルートで、18 かなる映えるスポットの宝庫です。